令和８年第６回定例会一般質問通告事項

12月2日	土屋咲子議員（木曜会）	質問方式：一問一答方式
	1　運転免許返納後も高齢者が安心して暮らせる移動支援策について (1) 高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となる中、安全のために運転免許の自主返納を考える高齢者がいる一方、返納後の買い物や通院などの移動手段が確保できず、返納をためらう声もある。本市における近年の自主返納件数や既存の支援制度の利用状況、返納後の移動手段の確保に関する課題をどのように把握しているか、市の見解を伺う (2) 移動手段の不足によって外出を控える高齢者を支え、免許返納後も安心して日常生活を送れるよう、タクシー利用助成など市独自の移動支援策を導入する考えはないか。また、地域の実情に応じた公共交通との連携強化について、市の見解を伺う 2　若者・子育て世代の負担軽減に向けた奨学金返還支援について (1) 奨学金の返済は、卒業後も長期にわたり若者の経済的負担となり、結婚や出産、子育て、定住を考える上での課題の一つとなっている。本市が実施する企業と連携した奨学金返還支援制度について、これまでの補助実績と、市内企業への普及が進んでいない要因や課題をどのように分析しているか、市の見解を伺う (2) 若者の経済的負担を軽減し、尾道への定住促進や結婚・出産・子育てを後押しするため､これまでの企業を通じた支援に加え、子育て世帯の奨学金返済を市が補助する制度を導入する考えはないか。若い世代が安心して将来設計を描き、尾道で子どもを産み育てたいと思える環境づくりの観点から、市の見解を伺う 3　市民の暮らしを直接支えるソフト事業の充実と今後の市政運営について (1) 人口減少や少子高齢化が進む今、防災やインフラ整備などのハード事業に加え、市民生活を直接支えるソフト事業の役割は、より一層重要になっていると考える｡今後の尾道市政において、何を優先し、何に力を注ぎ、何を市政運営の基本に据えていくべきか。また、市民が安心して暮らせるまちをつくるために、市長が大切にされていることは。市長の見解を伺う	